

知財の広場

中小企業・地域における知的財産活動について “特許行政年次報告書 2018 年版” より

先月に引き続き特許行政年次報告書の話です。特許庁から、知的財産制度を取り巻く現状と方向性、国内外の動向と分析について、直近の統計情報等を基に取りまとめた資料が「特許行政年次報告書 2018 年版」として公開されています。

＜特許庁 HP ホーム＞ 資料・統計 ＞ 統計資料 ＞ 特許行政年次報告書 ＞

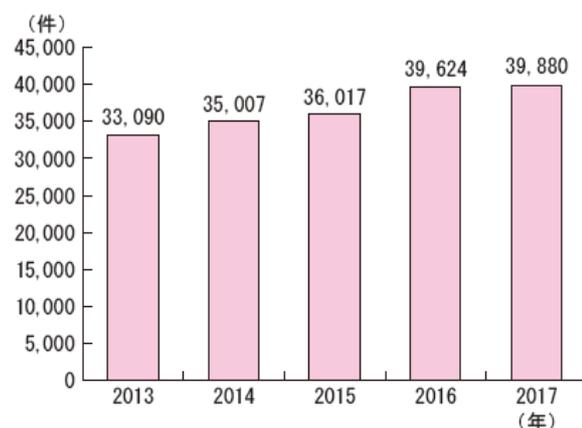
特許出願件数は「…2008 年以降漸減傾向で推移していたが、2015 年以降横ばいで推移している。…」とのことです。これに対し、「…2017 年の中小企業における特許出願件数は、39,880 件（前年比 0.6%増）であり、内国人出願における中小企業の出願件数比率は、15.3%（前年 15.2%）であった。…」とのことです（下図）。ちなみに 2015 年の中小企業の出願件数比率は、14.0%でしたから 2 年間で 1.3%UP しています。

また、中小企業数に対する特許出願中小企業数の割合は、全国平均 0.3%（2017 年）で、これを上回る都道府県は、東京、神奈川、福井、愛知、滋賀、京都、大阪とのことです。大都市以外では福井、滋賀が入っています。

少しずつですが、滋賀県でも中小企業における知的財産活用の重要性に対する認識が高まってきている証ではないでしょうか。ほかにも意匠、商標などの知的財産活動の状況が紹介されていますので是非一読をお勧めいたします。

木村誠治（知財ナビゲーター）

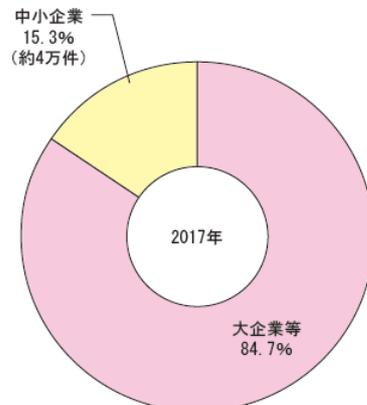
中小企業の特許出願件数の推移



（資料）特許庁作成

引用：特許行政年次報告書 2018 年版

特許出願件数に占める中小企業の割合



内国人による特許出願件数 約26万件